



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 244 号

2024/ 3

全国路面電車サミット宇都宮 都市交通再構築を議論

■1月 28 日、世界で214都市目、国内で2都市目に LRT の開業した宇都宮市で、第16回全国路面電車サミット2024宇都宮が開催された。(行政側の LRT 都市サミットに連続して開催) 前日の懇親会には宇都宮市長や国会 LRT 推進議連の逢沢会長、国交省街路交通施設整備課長など、宇都宮ライトレールに関わり続けたメンバーが一堂に会した、また本会議には当初見込みの約2倍の150人以上が参集した。



■パネル討論「ライトラインから都市交通改革を全国へ、どうして出来なかった日本のLRT4」

パネル討論では、欧米で 200 都市以上が、過度な車依存をやめて LRT を基本軸とする都市交通の再構築に取り組み、SDG の骨格にもなっているのに、どうして日本だけが3周遅れとなっているのか、忖度無しの真剣な議論が展開された。各地市民団体のキーパーソン松原光也(RACDA 高岡、名古屋大学環境学研究科研究員)の司会で、まず2002 2003 2006 年開催の「どうして出来ない日本の LRT」を企画した富山大学の本田豊教授から経緯説明。動画 <https://youtu.be/F7ZUIVNEW8o>

続いて雑誌で本格的に最初に LRT を紹介した服部重敬氏から「LRT の日本、世界の動向」の報告があった。

動画 <https://youtu.be/KPb8h4mvJx0>

■報告「熊本から今いちど真面目に都市交通～車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍を目指して～」

岡山のバス遅延改良、バス情報の見える化、熊本の無料デー・バス共同経営にも関わる太田恒平・トラフィックブレイン社長は、新規道路を作れば必ず渋滞を誘発するのに対し、電車バスだけでなく道路交通のデータを詳細に比較して、公共交通サービスレベルやルートをちょっと改良するだけで、劇的に都市交通を改善できるとした。つまり都市交通への投資は、道路単独投資よりも効果的であるわけで、実はこうした考え方を本格的に取り入れたのが、岡山市が2月2日に決めた地域公共交通利便増進実施計画である。



投資は、道路単独投資よりも効果的であるわけで、実はこうした考え方を本格的に取り入れたのが、岡山市が2月2日に決めた地域公共交通利便増進実施計画である。

動画 <https://youtu.be/Jwq-ggemWEc>

■基調報告 2 「都市交通政策の復権を求めて～活性化再生法時代をいま振り返る～」 実際の都市交通再設計にコンサルトして関わる何功氏からは、2000年頃にはLRTやオムニバスサミットなど都市交通再生の機運が高まっていたものの、事業仕分けで国のメニューが削られ、都市交通が「地域公共交通」に飲み込まれて、ジャンルとして消滅してしまった状況が明らかにされた。

動画 <https://youtu.be/3buS-j5cp6Q>

地域公共交通概念の類型化

行政用語「地域公共交通」≒不採算で公的関与が必要な公共交通
不採算公共交通は、目的も手段も異なる2領域に分かれる

行政
住民の基本的な活動機会の保障

行政
マイカー依存を低減するためのサービスレベル向上

市場
独立採算で供給されるサービス

中山間地 市街地 人口密度

地域公共交通概念の類型化

行政用語「地域公共交通」≒不採算で公的関与が必要な公共交通
不採算公共交通は、目的も手段も異なる2領域に分かれる

政策領域	生活支援交通	都市交通
主に発揮させる公共交通の役割	代わりに運転する人がいること	まとめて運ぶこと
取組の基本路線(代表的な考え方の例)	<ul style="list-style-type: none"> マイカーの削減は目指さない。 マイカーを自由に使えない住民の活動機会の確保のために、個別的な輸送サービスを供給する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の高い公共交通サービスの供給により、マイカーを削減する。 あわせて、マイカーを自由に使えない住民の活動機会の確保を図る。
対象とする区域	過疎地	都会

■パネル討論

実行委員長で宇都宮ライトレール仕掛け人でもある古池弘隆元宇都宮大学教授を交えて、都市交通再構築の議論。県警による信号処理など、都市交通の連携プレーなどの必要性も議論され、最後に本田教授から、「富山の事例をふまえて」と称して、JR 氷見線・城端線再構築として、JR が150億円負担して、あいの風とやま鉄道に移管して新型車両を大幅増便し直通運転する計画決定の報告がなされた。まさに吉備線 LRT 化と並行して議論されてきた、都市交通軸としての鉄軌道強化投資が動き出したのである。

動画 <https://youtu.be/iJXaWS7WYvI>

■なお各動画はラクダホームページのサミットページからリンクもしています。

<http://www.racda-okayama.org/archives/4125>



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)
 事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502
 E-mail: info@racda-okayama.org
 URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

